

令和5年11月16日
環 境 政 策 部

世田谷区環境に関する区民意識・実態調査の実施結果について

令和7年3月策定予定の次期世田谷区環境基本計画策定の基礎資料とするため、区民の環境に関する意識や行動の実施状況を把握する「世田谷区環境に関する区民意識・実態調査」を実施した。調査結果について、下記のとおり報告する。

記

1 調査期間

令和5年8月2日～8月23日

2 調査対象、抽出方法

満18歳以上の区民4,000名（無作為抽出）

3 有効回収数

1,558（有効回収率：39.0%）

4 調査方法

調査対象あてに、郵送により案内を送付。

原則インターネット回答（郵送回答希望者には、別途調査票を送付。）。

5 調査結果等

調査結果については、報告書（概要版、本編）のとおり。

報告書の概要版については、別紙のとおり。

報告書の本編については、区ホームページに掲載。

[ホーム](#)>[目次から探す](#)>[住まい・街づくり・環境](#)>[環境に関する計画・方針等](#)>[環境に関する区民意識・実態調査について](#)

URL:<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/sumai/011/010/d00131183.html>

世田谷区環境に関する区民意識・実態調査 (概要版)

(令和5年8月実施)

世田谷区環境に関する区民意識・実態調査(概要版)は、令和5年8月に実施した「世田谷区環境に関する区民意識・実態調査」を要約したもので、広くその内容を知っていただくために作成しました。

この調査では、「区民の皆さんの環境に配慮した行動について」などの項目についてお聞きしました。調査については、世田谷区環境基本計画の改定の基礎資料として活用して参ります。

また、調査結果の詳細「世田谷区環境に関する区民意識・実態調査」は、世田谷区の区政情報センター、同コーナー、区立図書館、区のホームページなどでご覧いただけます。

【調査項目】

- 1 区民の皆さんの環境への意識について
- 2 区民の皆さんの環境に配慮した行動について
- 3 区民の皆さんの電気の購入等について
- 4 世田谷区が取り組んでいる環境施策について
- 5 世田谷の環境に期待することについて
- 6 世田谷区からの案内や情報について
- 7 世田谷区の環境についての意見、要望

調査の概要

対象者	満18歳以上の世田谷区内在住者
対象数	4,000人
抽出方法	住民基本台帳に基づく 無作為抽出法
調査方法	郵送配布・原則インターネット回収
調査期間	令和5年8月2日～8月23日
有効回収数	1,558人
有効回収率	39.0%

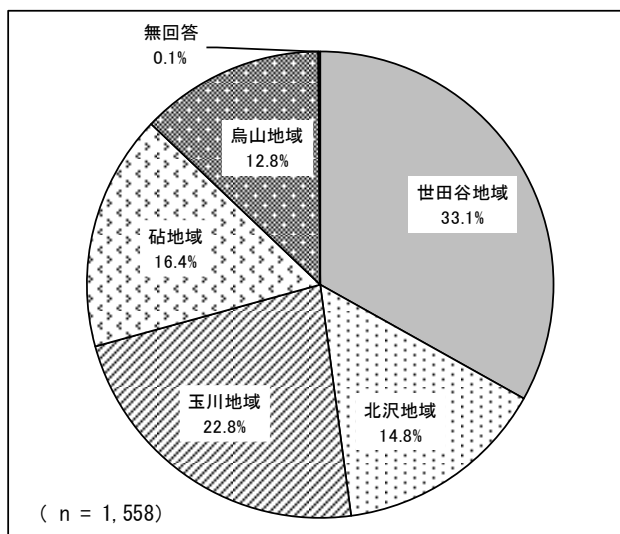
グラフの見方

- 1 (複数回答)、(5つまで)と記述されたものの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問です。
- 2 小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならないものがあります。
- 3 複数回答の設問については、合計が100.0を超えることがあります。
- 4 グラフ中のnは、各設問の回答者数を表します。

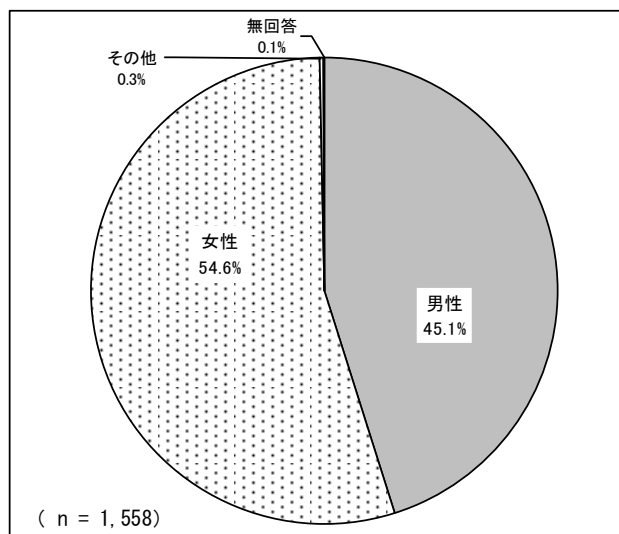
令和5年11月
世田谷区

回答者の属性

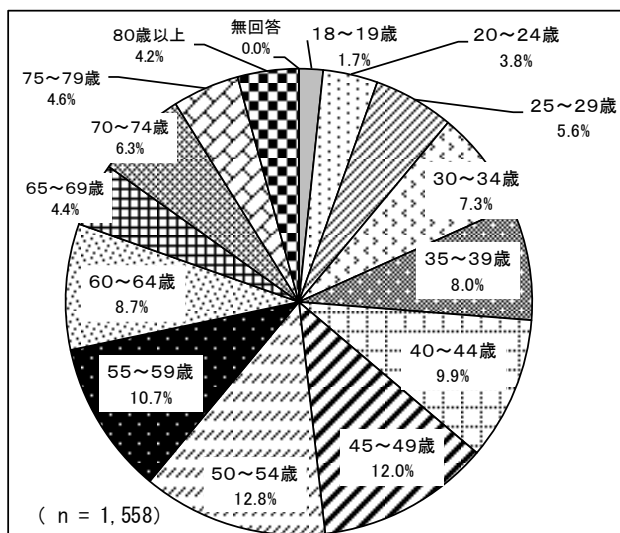
(1) 居住地域



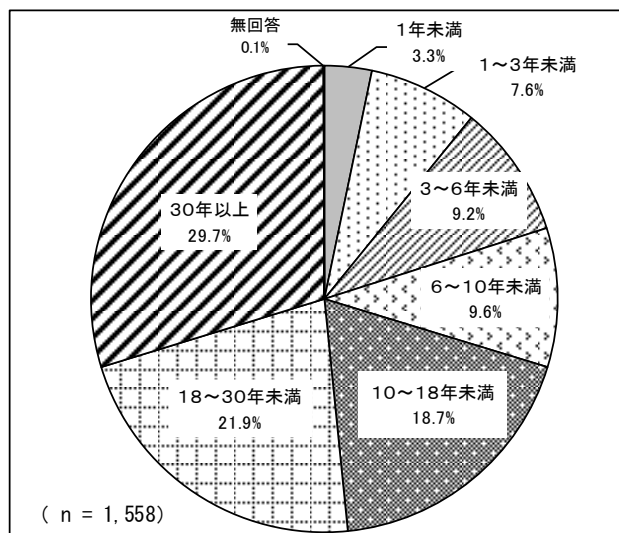
(2) 性別



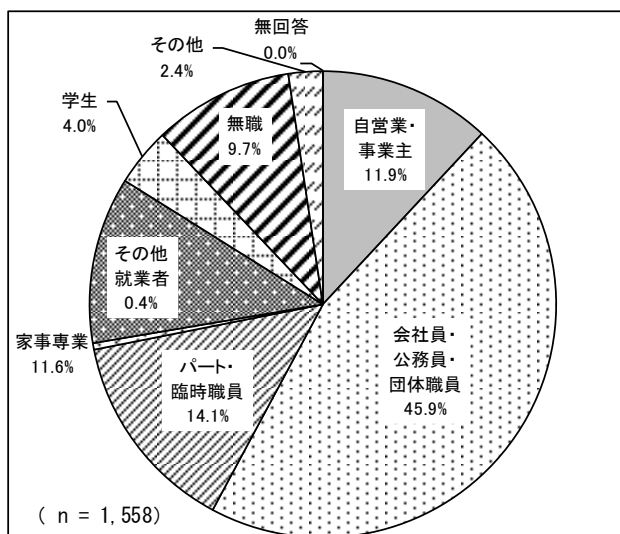
(3) 年齢



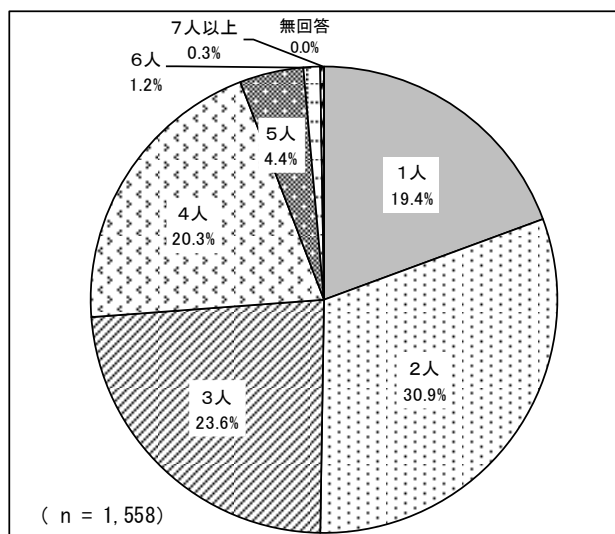
(4) 世田谷区在住年数



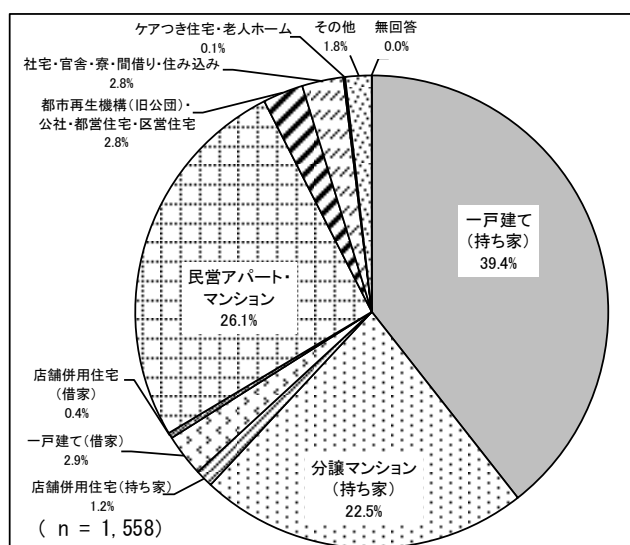
(5) 職業



(6) 世帯人数



(7) 居住形態



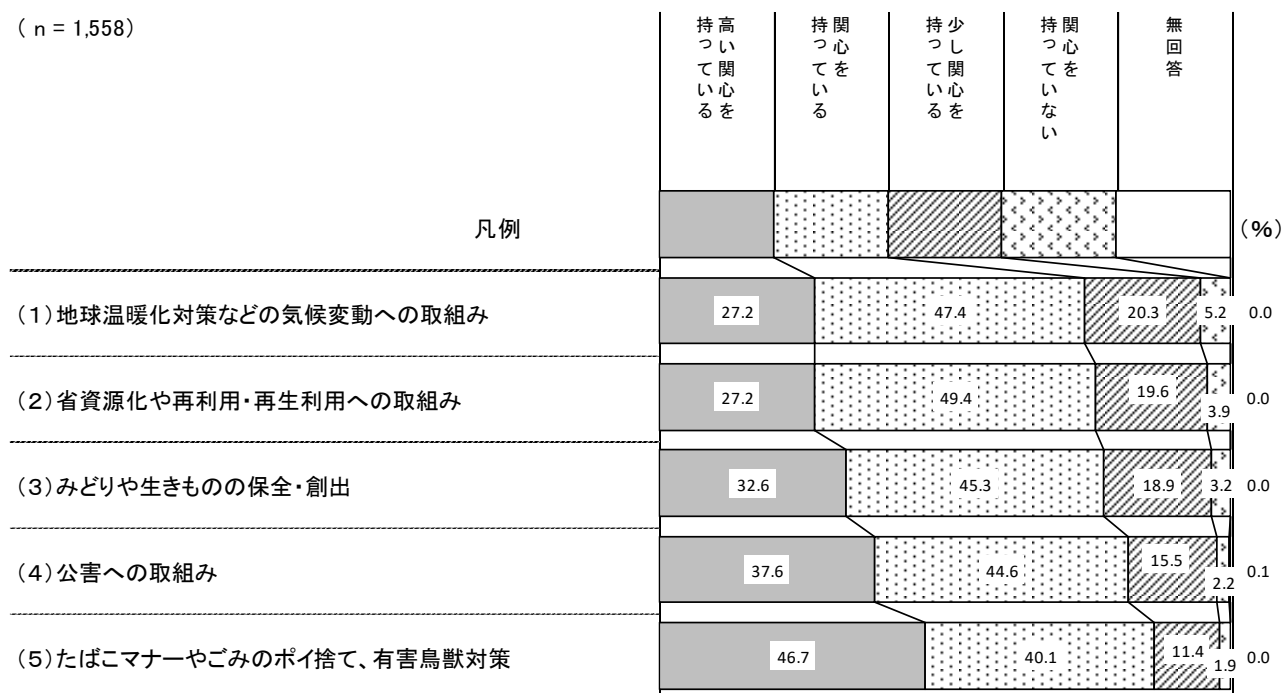
1 区民の皆さんの環境への意識について

(1) 「環境」分野の関心について

問1 あなたにとっての「環境」分野の関心について伺います。次の(1)～(5)の「環境」の項目について、それぞれ当てはまる番号に1つ〇をつけてください。

5項目の「環境」分野の関心について、「高い関心を持っている」は、『(5) たばこマナーやごみのポイ捨て、有害鳥獣対策』が46.7%で最も高く、次いで『(4) 公害への取組み』が37.6%であり、身近な問題で関心が高い傾向がみられます。その他の3項目については、おおむね3割前後となっています。

「高い関心を持っている」と「関心を持っている」を合わせると、すべての項目で7割以上が《関心を持っている》と回答しています。これに「少し関心を持っている」を合わせると9割を超えており、「関心を持っていない」は『(1) 地球温暖化対策などの気候変動への取組み』で5%を超えやや高いものの、それ以外の項目は5%以下にとどまっています。



2 区民の皆さんの環境に配慮した行動について

(1) 省エネ行動について

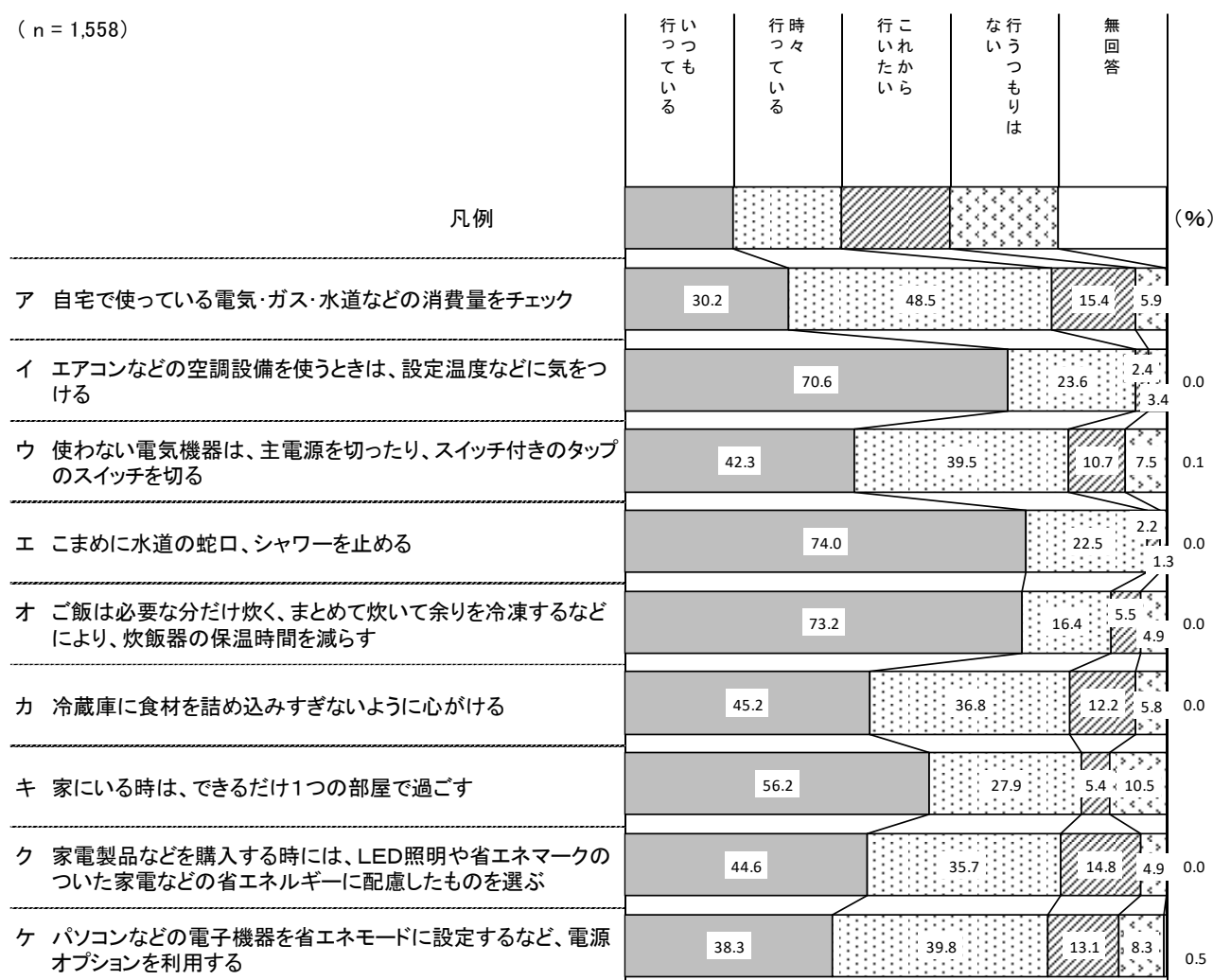
問2 あなたの環境に配慮した行動の状況をうかがいます。次の(1)～(12)の各項目について、当てはまるものを選んでください。

(1) 次のア～ケの省エネ行動について、それぞれ当てはまる番号に1つ○をつけてください。また、その他に行っている取組みがあれば記入してください

9項目の省エネ行動について、「いつも行っている」は、『エ こまめに水道の蛇口、シャワーを止める』において74.0%と最も高くなっています。

「いつも行っている」は『エ こまめに水道の蛇口、シャワーを止める』(74.0%)、『オ ご飯は必要な分だけ炊く、まとめて炊いて余りを冷凍するなどにより、炊飯器の保温時間を減らす』(73.2%)、『イ エアコンなどの空調設備を使うときは、設定温度などに気をつける』(70.6%)の3項目で高く、7割以上となっています。また、『キ 家にいる時はなるべく1つの部屋で過ごす』(56.2%)までの4項目で5割以上となっています。

(n = 1,558)



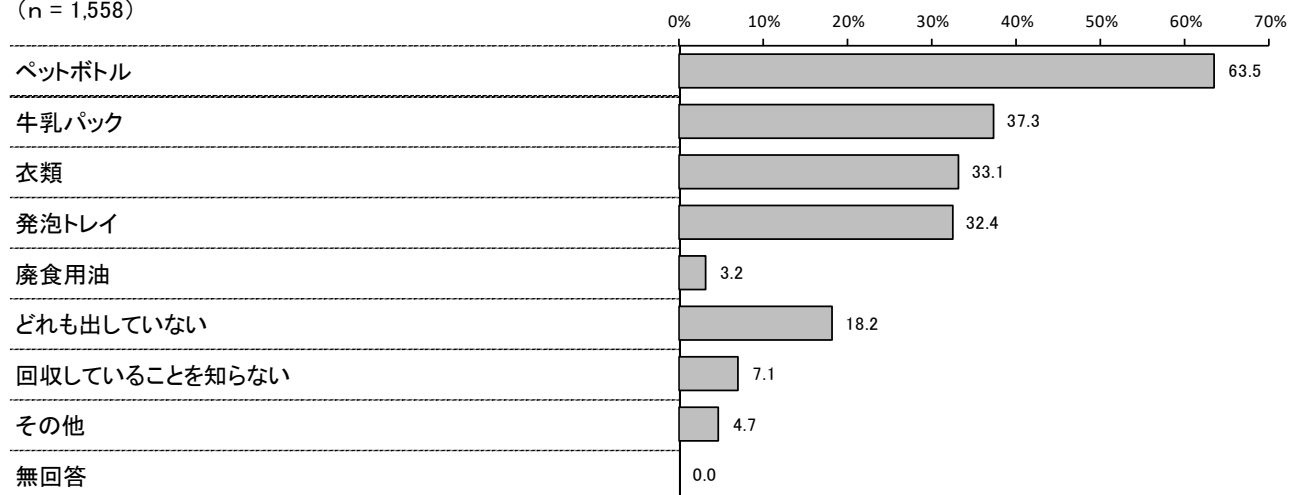
(2) 資源回収に出している資源（複数回答）

(2) 資源の分別回収のほかに、地域の団体による回収、公共施設や店頭での資源回収が行われています。あなたが地域の団体や店頭などに出している資源は何ですか。(〇はいくつでも)

資源回収に出している資源は、「ペットボトル」が63.5%と最も高く、次いで「牛乳パック」(37.3%)、「衣類」(33.1%)、「発泡トレイ」(32.4%)となっています。

「回収していることを知らない」は7.1%、「どれも出していない」が18.2%となっています。

(n = 1,558)



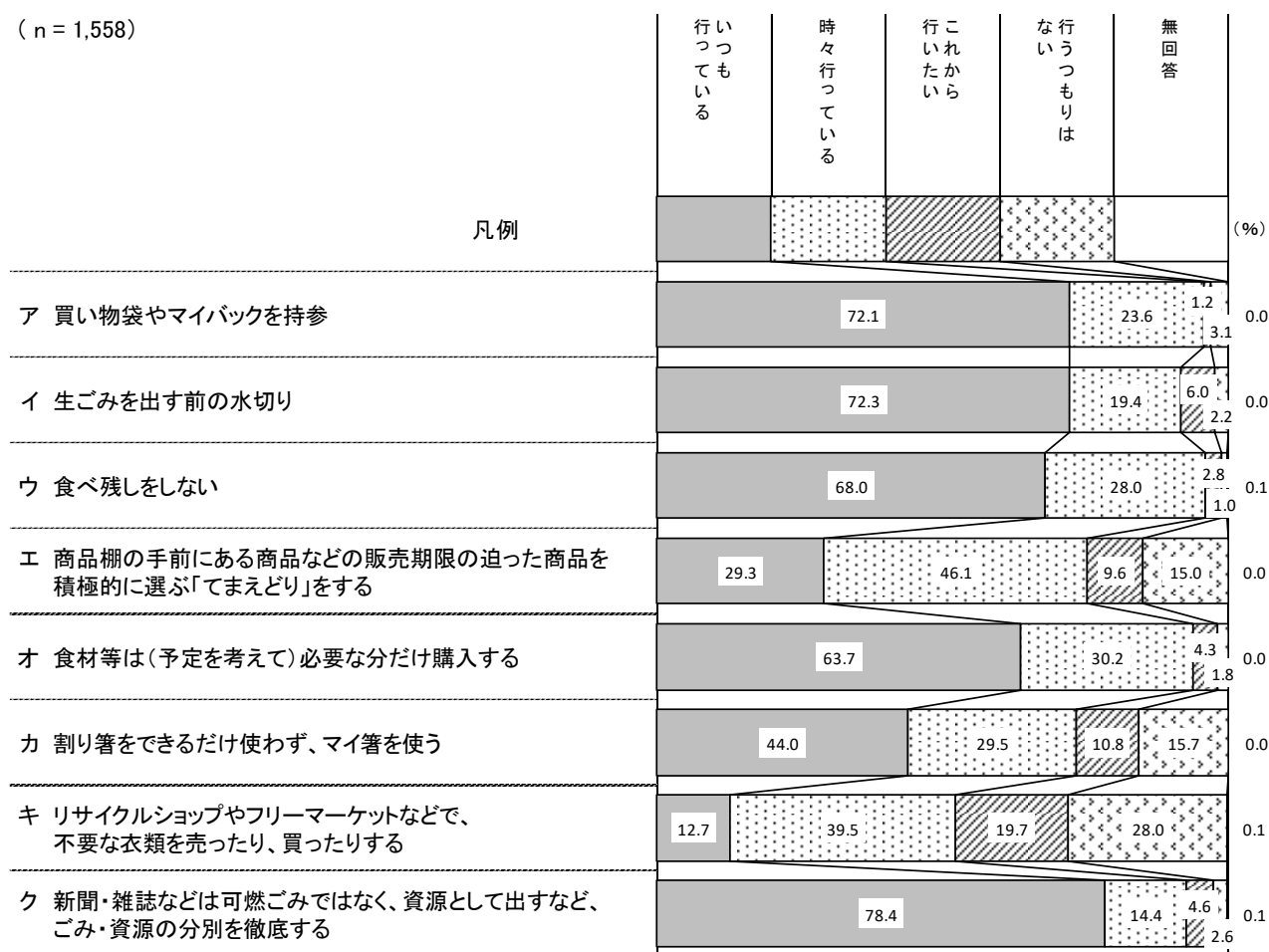
(3) ごみの削減・リサイクル行動について

(3) 次のア～クのごみの削減・リサイクルの行動について、それぞれ当てはまる番号に1つ○をつけてください。また、その他に行っている取組みがあれば記入してください。

8項目のごみの削減・リサイクル行動について、「いつも行っている」は、『ク 新聞・雑誌などは可燃ごみではなく、資源として出すなど、ごみ・資源の分別を徹底する』において78.4%と最も高くなっています。

「いつも行っている」は『ク 新聞・雑誌などは可燃ごみではなく、資源として出すなど、ごみ・資源の分別を徹底する』(78.4%)、『イ 生ごみを出す前の水切り』(72.3%)、『ア 買い物袋やマイバックを持参』(72.1%)、『ウ 食べ残しをしない』(68.0%)、『オ 食料等は(予定を考慮して)必要な分だけ購入する』(63.7%)の5項目で5割以上となっています。

(n = 1,558)

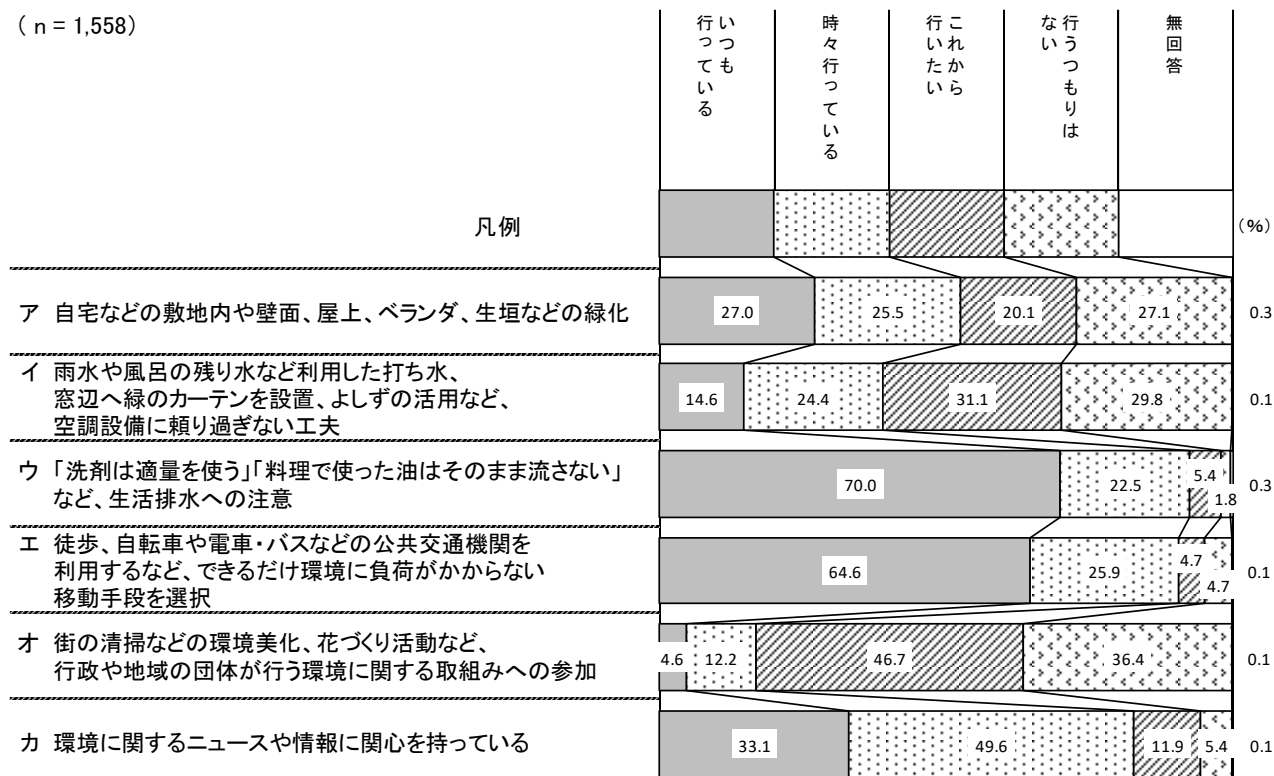


(4) 環境に対するその他の取組みについて

(4) 次のア～カの環境に関するその他の取組みについて、それぞれ当てはまる番号に1つ○をつけてください。また、その他に行っている取組みがあれば記入してください。

6項目の環境に関するその他の取組みについて、「いつも行っている」は、『ウ 「洗剤は適量を使う」「料理で使った油はそのまま流さない」など、生活排水への注意』において70.0%と最も高くなっています。

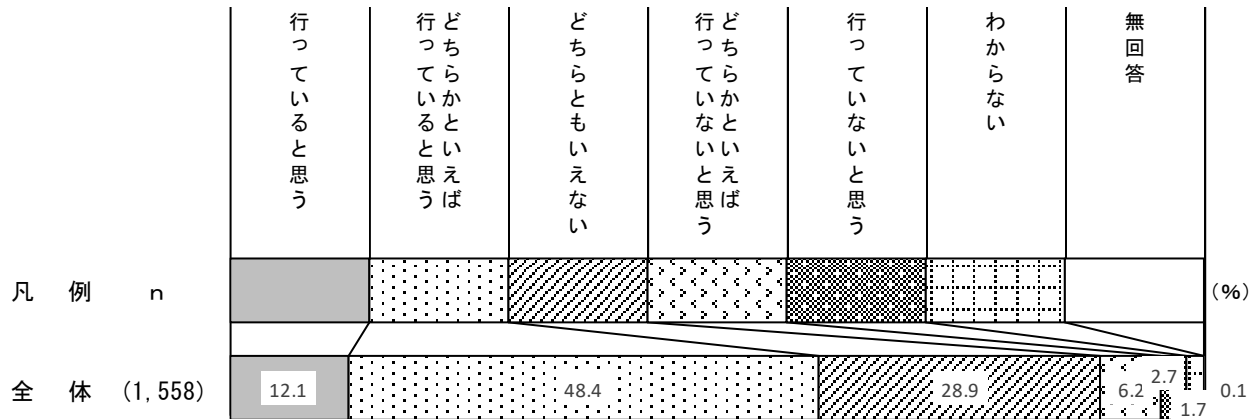
「いつも行っている」は、『ウ 「洗剤は適量を使う」「料理で使った油はそのまま流さない」など、生活排水への注意』(70.0%)、『エ 徒歩、自転車や電車・バスなどの公共交通機関を利用するなど、できるだけ環境に配慮した交通手段を利用』(64.6%)の2項目で5割以上となっています。



(5) 環境に配慮した行動を行っているか

(5) あなたは他の人に比べて、環境に配慮した行動を行っていると思いますか。(○は1つ)

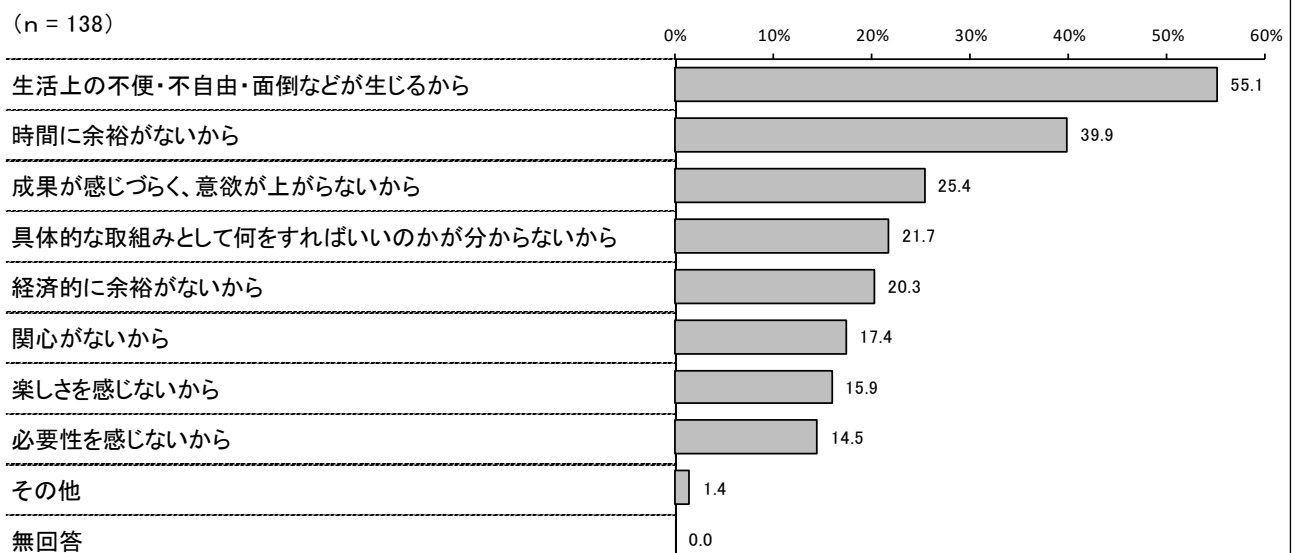
環境に配慮した行動を「どちらかといえば行っていると思う」が48.4%で高く、「行っていると思う」(12.1%)と合わせると6割以上となっています。



(6) 環境に配慮した行動を妨げている理由 (複数回答)

(6) 上記(5)で「どちらかといえば行っていないと思う」、または「行っていないと思う」に○をつけた方にお聞きします。環境に配慮した行動を妨げている理由は何ですか。(○はいくつでも)

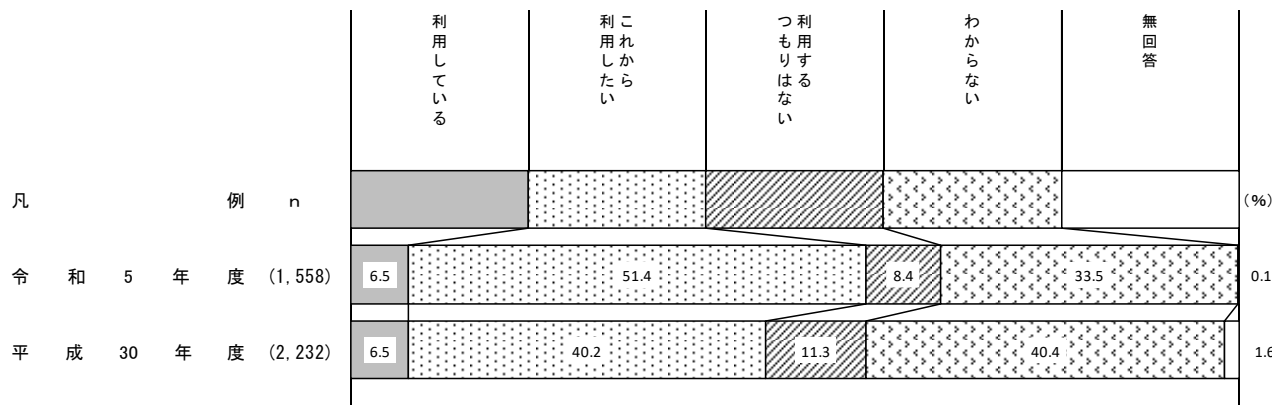
(5)で環境に配慮した行動について、「どちらかといえば行っていないと思う」、または「行っていないと思う」と回答した方の環境に配慮した行動を妨げている理由は、「生活上の不便・不自由・面倒などが生じるから」が55.1%で最も高く過半数となっています。次いで「時間に余裕がないから」(39.9%)、「成果が感じづらく、意欲が上がらないから」(25.4%)となっています。



(7) 再生可能エネルギーの利用

(7) 太陽光・風力・地熱・水力・バイオマスといった再生可能エネルギーは、温室効果ガスを排出せず、国内で生産でき、地球温暖化対策の一助となります。
再生可能エネルギーを生活の中で利用していますか。(〇は1つ)

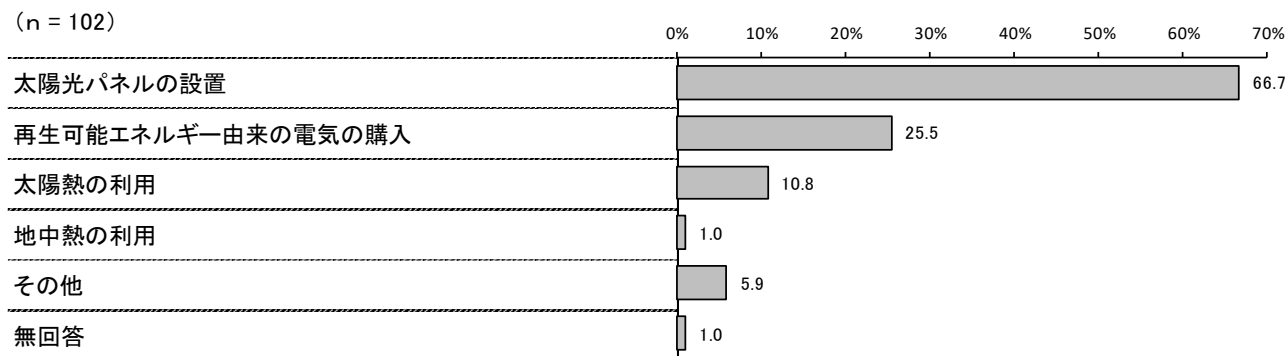
平成 30 年度の調査では、再生可能エネルギーを「利用している」は 6.5%でした。今回の調査では再生可能エネルギーを「利用している」は 6.5%となっており、平成 30 年度から変化はありませんでしたが、「これから利用したい」が 11 ポイント余り増加し、51.4%となっています。



(8) 利用している再生可能エネルギーの種類 (複数回答)

(8) 上記 (7) で「1 利用している」に〇をつけた方にお聞きします。
取り入れている再生可能エネルギーの種類について、次の中から選んでください。
(〇はいくつでも)

(7) で再生可能エネルギーを「利用している」と回答した方が、利用している再生可能エネルギーの種類は、「太陽光パネルの設置」が 66.7%と最も高く、次いで、「再生可能エネルギー由来の電気の購入」(25.5%)、「太陽熱の利用」(10.8%) となっています。

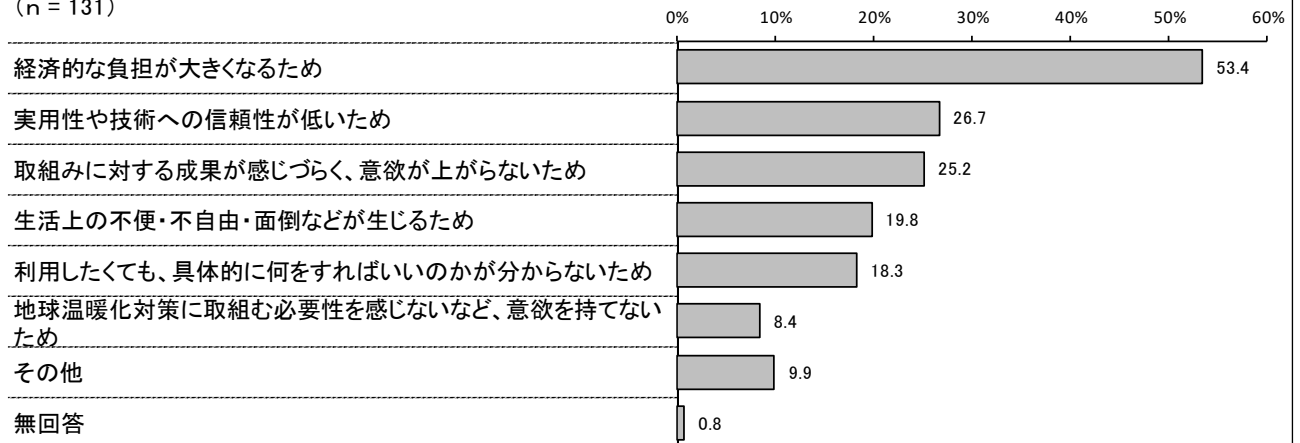


(9) 再生可能エネルギーを利用するつもりがない理由（複数回答）

(9) 上記(7)で「3 利用するつもりはない」に○をつけた方にお聞きします。
利用するつもりがない理由について、次の中から選んでください。(○はいくつでも)

(7)で再生可能エネルギーを「利用するつもりはない」と回答した方が、利用するつもりがない理由は、「経済的な負担が大きくなるため」が53.4%で最も高く、次いで「実用性や技術への信頼性が低いため」(26.7%)、「取組みに対する成果が感じづらく、意欲が上がらないため」(25.2%)となっています。

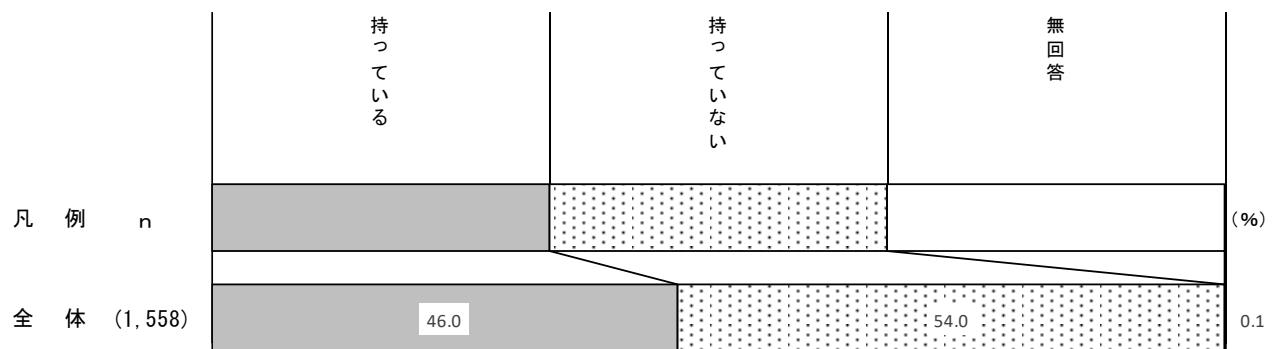
(n = 131)



(10) 自家用車の保有状況

(10) あなたのご家庭では自家用車をお持ちですか。(○は1つ)

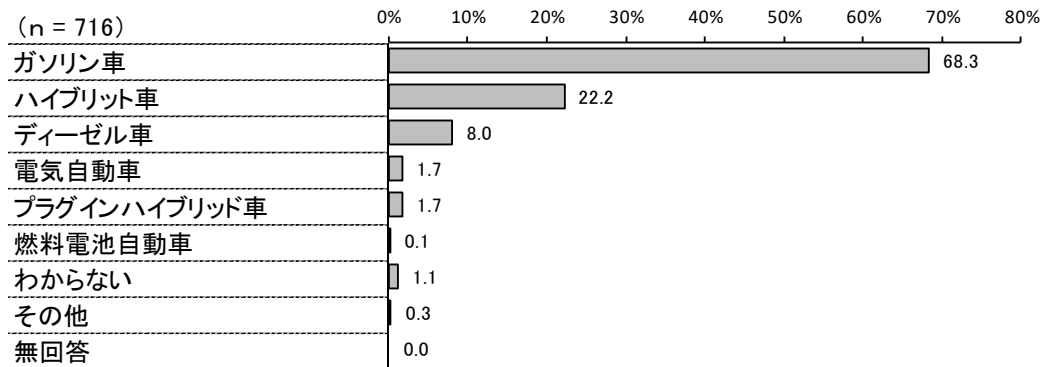
自家用車については、「持っている」が46.0%、「持っていない」が54.0%となっています。



(11) 保有している自家用車の種類（複数回答）

(11) 上記(10)で「1. 持っている」に○をつけた方にお聞きします。
あなたの家庭の自家用車の種類について、次の中から選んでください。(○はいくつでも)

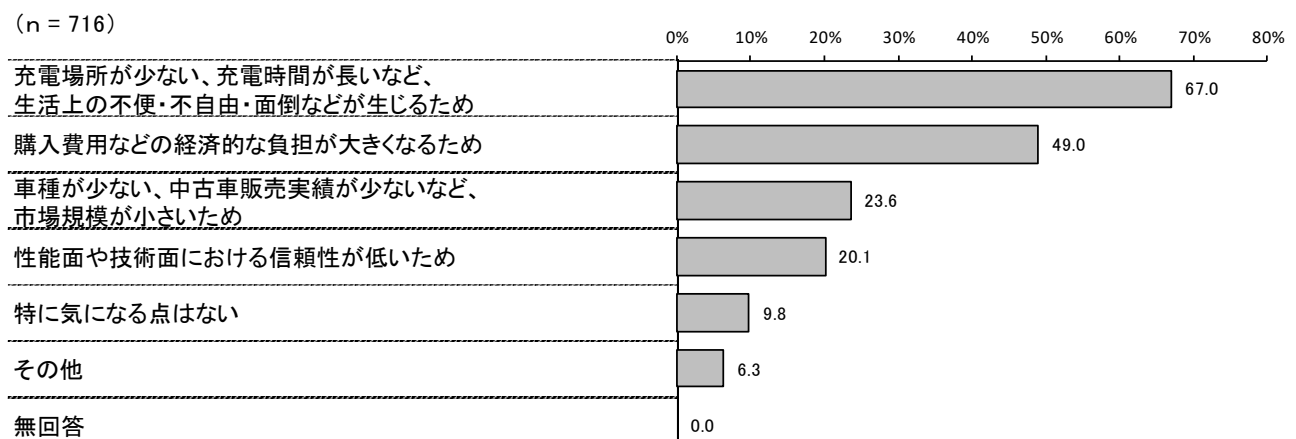
保有している自家用車の種類は、「ガソリン車」が68.3%、「ハイブリット車」が22.2%となっています。この2種類以外はいずれも1割以下となっています。



(12) 環境負荷の低い自動車の購入に関して気になる点

(12) 上記(10)で「1. 持っている」に○をつけた方にお聞きします。
電気自動車や燃料電池自動車などは、走行時に二酸化炭素を排出しない環境負荷の低い自動車です。
あなたが、環境負荷の低い自動車の購入に関して気になる点を、次の中から選んでください。(○はいくつでも)

自家用車を所有している方が、環境負荷の低い自動車の購入に関して気になる点は、「充電場所が少ない、充電時間が長いなど、生活上の不便・不自由・面倒が生じるため」が67.0%で最も高く、次いで「購入費用などの経済的な負担が大きくなるため」(49.0%)となっています。



3 区民の皆さんのエネルギー使用について

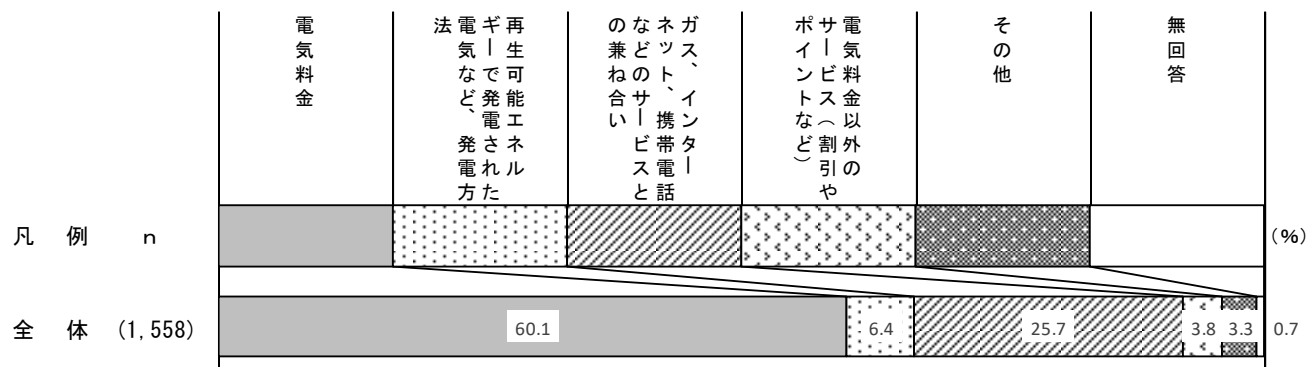
(1) 電力の購入先を選択する際に重要視すること

問3 皆さんの電気の購入などについて、分かる範囲で結構ですので、次の(1)～(3)の各項目について、当てはまるものを選んでください。

(1) あなたが電力の購入先を選択する際に重要視することを、次の中から選んでください。
(○は1つ)

なお、家族が決めている、社宅等で会社が契約しているなど、現在、ご自身で電力の購入先を選択していない方は、ご自身が購入先を選択すると仮定してお答えください。

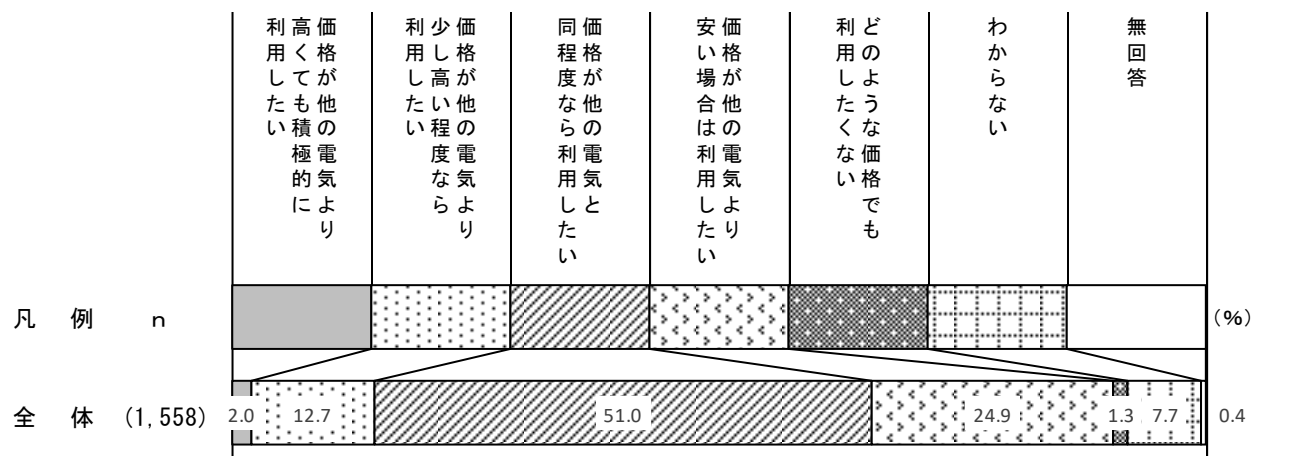
電力の購入先を選択する際に重要視することは、「電気料金」が60.1%で最も高く、次いで「ガス、インターネット、携帯電話などのサービスとの兼ね合い」(25.7%)となっています。



(2) 再生可能エネルギーで作られた電気を選ぶ価格条件

(2) あなたのご家庭で、再生可能エネルギー(太陽光発電、水力発電等)で作られた電気を選ぶ場合、価格面での条件として当てはまるものを次の中から選んでください。(○は1つ)

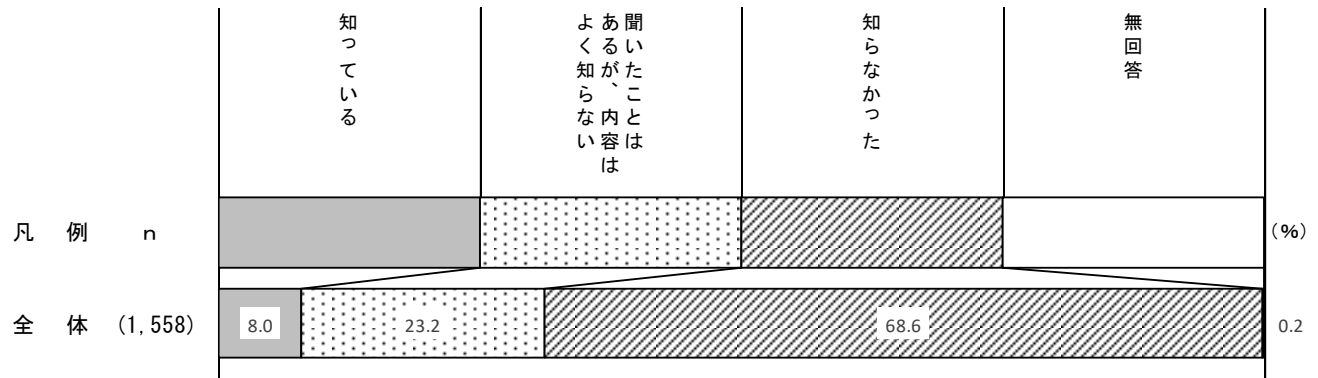
再生可能エネルギーで作られた電気が「価格が他の電気と同程度なら利用したい」が51.0%で最も高くなっています。



(3) 再生可能エネルギーを活用した自治体間連携の認知度

(3) 区は、群馬県川場村などをはじめとするエネルギー資源の豊富な自治体と連携することで、区内での再生可能エネルギーの利用拡大を進めています。このような再生可能エネルギーを活用した自治体間連携の取組みを、あなたは知っていますか。次の中から選んでください。
(○は1つ)

再生可能エネルギーを活用した自治体間連携を「知っている」は 8.0%、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が 23.2%、「知らなかった」が 68.6%となっています。

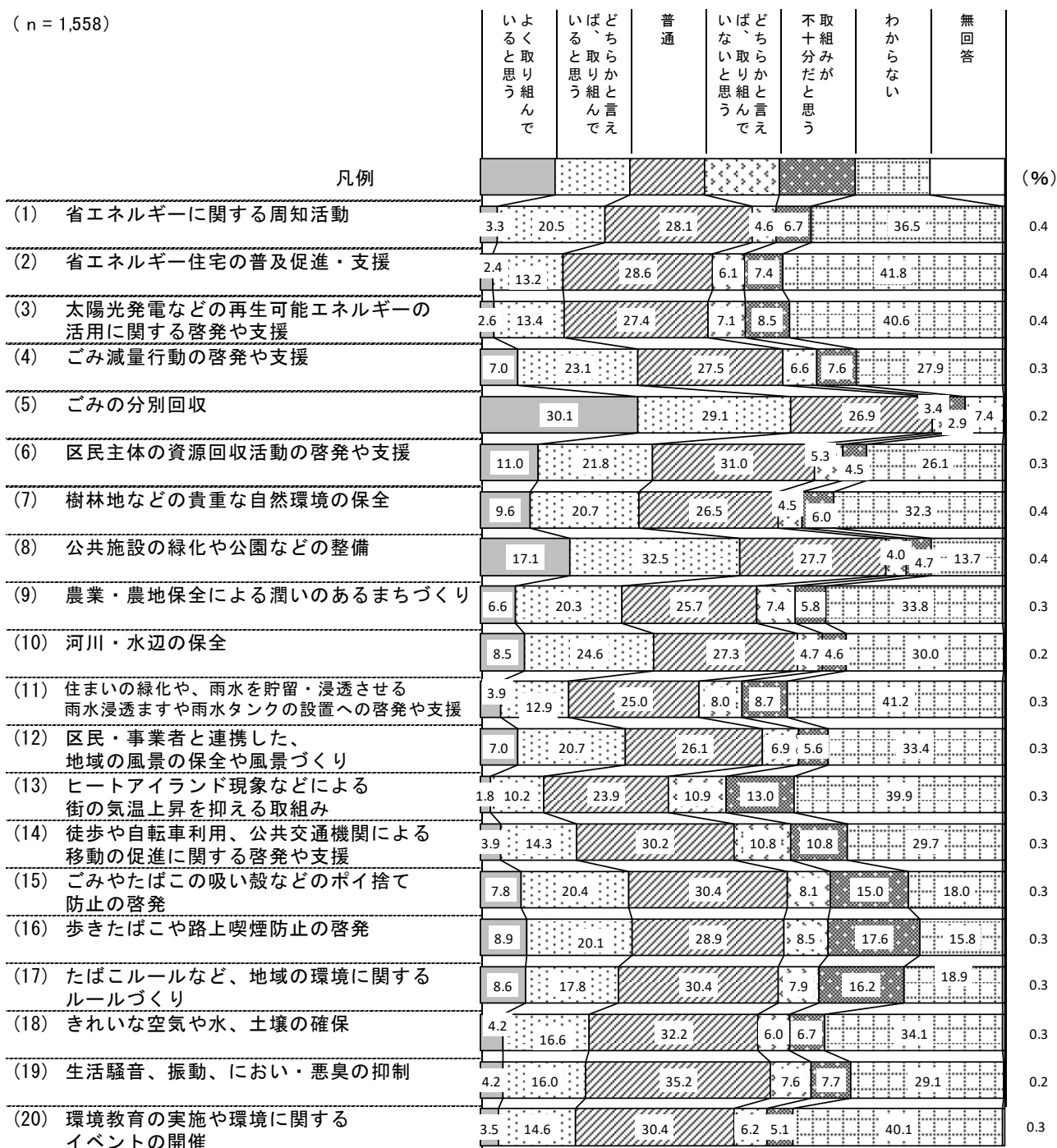


4 世田谷区が取り組んでいる環境施策について

問4 区は、東京都や国の各省庁の行う環境の施策と連携を取りながら、様々な施策を行っています。区の実施状況についてあなたはどのように評価していますか。
次の(1)～(20)について、それぞれ当てはまる番号に1つ○をつけてください。

区が行っている20の環境施策について、「よく取り組んでいる」と「どちらかと言えば、取り組んでいる」とを合わせた《取り組んでいる》の割合は、『(5)ごみの分別回収』が59.2%と最も高く、5割以上となっています。次いで、『(8)公共施設の緑化や公園などの整備』(49.6%)、『(10)川辺・水辺の保全』(33.5%)となっています。

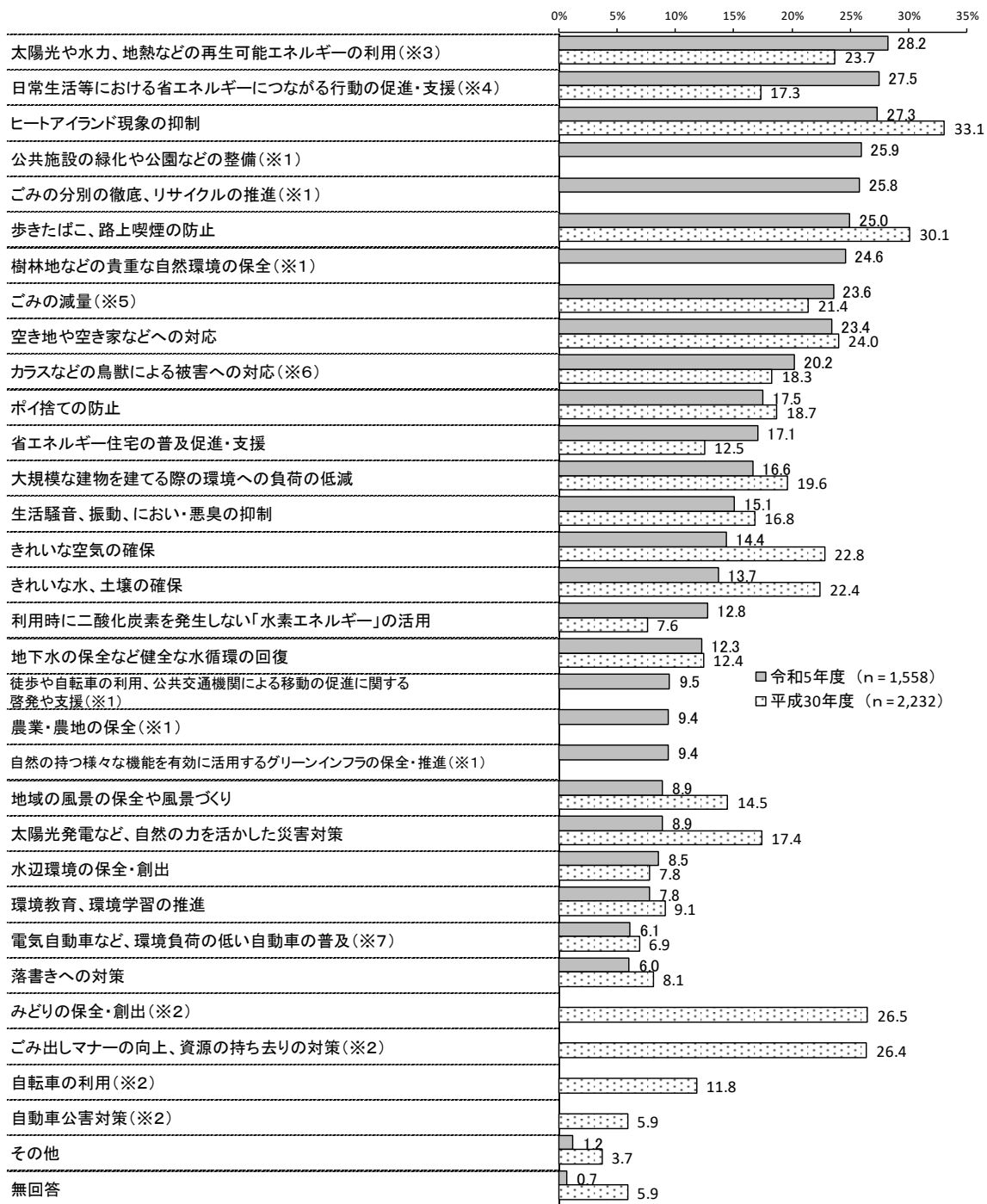
(n = 1,558)



5 世田谷区の環境に期待することについて

問5 あなたが、今後、世田谷区の環境に関する施策の中で、充実させていく必要があると感じるものはどれですか。次の中から5つまで選んでください。

区の環境に関する施策について、充実させていく必要があるもの5つを選んでもらった。「太陽光や水力、地熱などの再生可能エネルギーの利用」が28.2%で最も高く、次いで「日常生活等における省エネルギーにつながる行動の促進・支援」(27.5%)、「ヒートアイランド現象の抑制」(27.3%)、「公共施設の緑化や公園などの整備」(25.9%)、「ごみの分別の徹底、リサイクルの推進」(25.8%)となっています。



※1 令和5年度のみある選択肢 ※2 平成30年度のみある選択肢
 ※3 平成30年度は「太陽光や水力、地熱などの再生可能エネルギー(自然エネルギー)の利用」
 ※4 平成30年度は「省エネルギー活動」 ※5 平成30年度は「ごみの減量・リサイクル活動」
 ※6 平成30年度は「カラスなどによる被害への対応」 ※7 平成30年度は「電気自動車など、次世代自動車の普及」

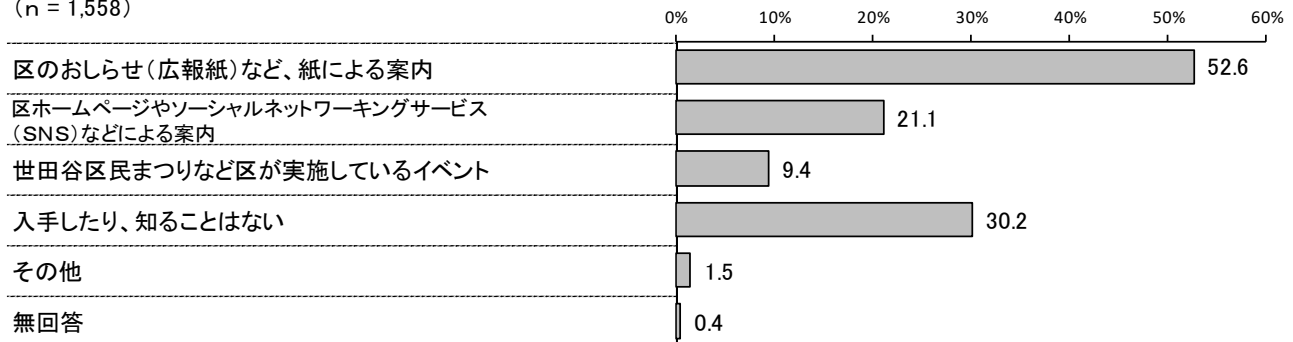
6 世田谷区からの案内や情報について

問6 あなたは、世田谷区の環境（政策）に関する案内や情報を、どのような方法で入手したり、知ったりしていますか。（〇はいくつでも）

世田谷区からの案内や情報を入手できる媒体は、「区のおしらせ（広報紙）など、紙による案内」が52.6%と最も高く、次いで、「区ホームページやソーシャルネットワーキングサービス（SNS）などによる案内」（21.1%）となっています。

年代別にみると、40歳代より下の年代では「区のおしらせ（広報紙）など、紙による案内」が5割を下回っており、20歳代以下では3割を下回っています。10歳代から30歳代では「入手したり、知ることはない」の割合が高くなっています。

(n = 1,558)



		n	紙による案内 区のおしらせ （広報紙）など、 などによる案内	区ホームページや ソーシャルネットワーキ ングサービス（SNS） などによる案内	世田谷区民まつりな ど区が実施している イベント	入手したり、 知ることは ない	その他	無 回 答
全 体		1,558	52.6	21.1	9.4	30.2	1.5	0.4
年 齢 別	10歳代	26	23.1	11.5	3.8	65.4	0.0	0.0
	20歳代	146	26.7	18.5	8.9	52.1	1.4	0.0
	30歳代	237	30.4	24.5	14.8	43.9	0.8	0.0
	40歳代	342	41.8	25.1	10.8	34.8	0.9	0.0
	50歳代	366	57.9	25.4	7.4	24.3	1.9	0.3
	60歳代	205	71.2	19.5	7.3	21.5	1.0	0.0
	70歳代	170	88.2	9.4	5.9	7.1	3.5	1.8
	80歳以上	66	78.8	9.1	12.1	13.6	1.5	4.5

世田谷区環境に関する区民意識・実態調査（概要版）

令和5年11月発行

発行 世田谷区環境政策部 環境計画課

東京都世田谷区玉川1-20-1

03(6432)7131